



海外向け専門のウェブ マーケティング会社 ポータル・ジャパン

<http://www.portal-japan.co.jp>

村山慶輔社長のプロフィール

出身地/兵庫県神戸市
最終学歴/ウイスコンシン大学
尊敬する人物/聖徳太子
好きな言葉/人のすべては気持ちの持ち様で決まる

日本最大のインバウンドビジネスプラットフォーム「やまとこころ」を運営し、観光支援や海外向け専門のウェブマーケティングを行うポータル・ジャパン。「日本をもっと世界へ伝えたい」という村山社長の思いを伺った。

——「やまとこころ」とは。

村山 観光に携わる事業者の方々向けに、訪日外国人観光客の動向や、彼らの受け入れに取組んでいる事業者の情報を提供しているポータルサイトです。

—— サイト立ち上げのきっかけ。

村山 5年間の海外生活の中で、日本が世界に情報発信をうまくできていないという問題意識を持ちました。日本の情報発信に貢献できるような仕事がないかという思いから会社を設立し、個人的に観光がとても好きだったので、まずは日本の観光の魅力を世界に発信していくためのサイトを立ち上げました。当時、訪日外国人に特化したサイトがなかったため、ナンバワンになれるという確信が持て

ました。

—— 訪日外国人が増えれば、メリットがありそうですね。

村山 インバウンドは縮小する日本で伸びている数少ないマーケットのひとつです。訪日外国人が増えることで、日本に雇用も生まれます。外国人ならではの視点で日本を見ていただき、フィードバックしていただくことによって、新たに自分たちの魅力も自覚して、さらに発信していけるといい循環が生まれていくと思います。

—— マーケティング力の秘訣は。

村山 海外の視点を得るために、従業員に外国人スタッフを多く採用しています。日本人スタッフも私を含め海外経験のある者ばかりです。とはいえ、事務所は日本にあるので海外の企業と組んで現地の情報収集を行っています。また、定期的に外国人観光客にインタビューし、目的や予算などを調査しながら、社内にノウハウを蓄積していくこ

とで、日本企業の海外プロモーションのお手伝いをさせていた。だく基礎を作り上げています。

—— 御社の事業の柱は。

村山 「やまとこころ」は多くの方に弊社のことを知っていただく役割を担っており、事業の柱はウェブになります。ウェブは費用対効果も非常に分かりやすく、ページを立ち上げた瞬間に世界とつながることができます。海外に打って出る際にこれ以上の媒体はありません。

—— 今後の展開について。

村山 「やまとこころ」の会員数をもっと伸ばし、インバウンドの分野で圧倒的なメディアになりたいと思っています。また、海外向けウェブマーケティングでもナンバワンを目指します。それによって日本の国際化に貢献できればと思っています。

（会社データ）

設立/2006年3月
従業員/15人
売上高/非公開
所在地/東京都豊島区